

作成日 2019年 1月21日
改訂日 2019年 2月 8日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : メディプロ トイレクリーナー
 供給者の会社名称 : ライオンハイジーン株式会社
 住所 : 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル6階
 担当部門 : 企画開発部 第1研究所
 電話番号 : 03-3616-3159
 FAX番号 : 03-3616-3208
 緊急連絡電話番号 : 03-3616-3159
 製品の用途 : 業務用除菌洗浄剤
 整理番号 : 2123

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

爆発物 : 分類対象外
 可燃性又は引火性ガス : 分類対象外
 (化学的に不安定なガスを含む)
 エアゾール : 分類対象外
 支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外
 高压ガス : 分類対象外
 引火性液体 : 区分外
 可燃性固体 : 分類対象外
 自己反応性化学品 : 分類対象外
 自然発火性液体 : 区分外
 自然発火性固体 : 分類対象外
 自己発熱性化学品 : 分類できない
 水反応可燃性化学品 : 区分外
 酸化性液体 : 分類できない
 酸化性固体 : 分類対象外
 有機過酸化物 : 分類対象外
 金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
 急性毒性(吸入:粉じん及びミスト) : 分類できない
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 区分1A
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 分類できない
 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 区分2(呼吸器、肝臓)
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分2
 水生環境有害性(長期間) : 区分2
 オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 長期にわたる,又は反復ばく露による呼吸器,肝臓の障害のおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

- 安全対策(予防策) : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
- 応急措置(対応策) : 特別な処置が必要である
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。
- 保管(貯蔵) : 換気の良いところで容器を密閉して保管すること。
- 廃棄 : 内容物/容器を許可を受けた産業廃棄物業者に委託し、関連法規等を順守し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学特性 : 弱アルカリ性液体洗浄剤
- 成分及び濃度

化学名	CAS番号	濃度及び濃度範囲	官報公示整理番号(化審法)
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	84133-50-6	0.4%	7-97
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	10%未満	2-422

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに患者を風通しの良い場所へ移動させ、安静にする。気分が悪いときは、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で洗い流す。異常がある時は、医師の処置を受ける。
- 目に入った場合 : こすらずに直ぐに水で洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な目の損害を生じるおそれがある。洗浄後、速やかに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、多量の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。酸で中和しようとしてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は炊事用手袋、保護メガネなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 特に無し
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスが発生する。
- 特有の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周辺に散水して冷却し、容器の破損を防ぐ。
火元への燃焼元を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は、風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策(局所排気・全体換気等) : 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
目、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行う。

- 安全取扱注意事項 : キャップを開ける時は原液が飛び出さないように注意する。また、容器を移動する時は、キャップをしっかり閉める。
他の薬剤、洗浄剤とは混ぜない。
他の容器に移し替えて使用しない。
使用済みの空容器はよく洗ってから処理する。
用途以外に使用しない。
子供の手の届かない場所に保管する。
- 接触回避 : アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
- 衛生対策 : 清浄な作業服、帽子、安全靴等を着用。
- 保管
 - 安全な保管条件(適切な技術対策、及び混触禁止物質との保管条件(適切な保管条件及び避けるべき保管条件)) : 換気のよい場所で容器を密閉し、直射日光や高温多湿の場所を避けて保管すること。
 - 安全な容器包装材料(推奨材料及び不適切材料) : 屋内保管を行う。水、雨の濡れに注意する。破袋を防ぐため乱暴な取扱いは避ける。横に倒して保管しない。子供の手の届くところに保管しない。
酸性物質と混触しないように離しておく。
製品使用容器に準じる。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度-日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- 許容濃度-ACGIH : 設定されていない。
- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。直接取り扱う場所では局所排気装置を稼働させ、換気を良くする。
- 保護具
 - 呼吸用保護具 : 通常の取扱いでは特に必要はない。
 - 手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋
 - 眼の保護具 : 保護眼鏡、保護面
 - 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着、保護衣、ゴム前掛、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- 外観(物理的状態, 形状, 色など) : 無色～淡黄色透明液体
- 臭い : 弱い特徴的な臭いがある
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- pH : 10.5
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点, 初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : 示さず
- 蒸発速度 : データなし
- 燃焼性(固体, 気体) : データなし
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重(相対密度) : データなし
- 溶解度 : 水可溶
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : なし
- 分解温度 : データなし
- 粘度(粘性率) : データなし
- その他のデータ : なし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : データなし
- 化学的安定性 : 熱、光、衝撃に対して安定である。但し、40℃以上の高温及び、直射日光下での長期放置は品質劣化を起こすので避けること。
- 危険有害反応可能性 : アルカリ性の為、酸性物質と接触すると激しく中和反応・発熱反応を起こす。アルミニウム、すず、亜鉛等の金属を腐食して引火性の水素ガスを発生する。
- 避けるべき条件 : 酸性物質、陰イオン界面活性剤との接触
- 混触危険物質 : 酸性物質
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物
- その他 : なし

11. 有害性情報

- 急性毒性(経口) : データなし
- 急性毒性(経皮) : データなし

急性毒性(吸入:気体)	:	データなし
急性毒性(吸入:蒸気)	:	データなし
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	:	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	:	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	:	データなし
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	:	データなし
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	:	(製品のデータ) データなし (製品のデータ) ヒトに関する情報はない。実験動物では、ラットを用いた5週間吸入毒性試験において、117 mg/m ³ (ガイダンス値換算: 0.0325 mg/L) で肝臓の相対重量増加、肝細胞脂肪変性がみられている (EU-RAR (2000))。また、ラットを用いた2週間吸入毒性試験において、100 mg/m ³ (ガイダンス値換算: 0.011 mg/L) で血管周囲及び気管支周囲の顆粒球白血球の細胞浸潤、細気管支化、肺重量増加がみられている (EU-RAR (2000))。これらはいずれも区分1の範囲でみられた。なお、血液系 (赤血球) への影響として溶血がみられたが区分2の範囲を超える用量であった。ラットを用いた6週間強制経口投与毒性試験において、溶血性貧血、肝臓重量増加、前胃の角化亢進・棘細胞増生がみられ (EU-RAR (2000)、PATTY (6th, 2012)、DFGOT vol. 7 (1996))、13週間飲水投与毒性試験において溶血性貧血、肝臓重量増加がみられた (PATTY (6th, 2012))。これらは区分2の範囲を超える用量であった。ラットを用いた13週間経皮投与毒性試験において、全身影響はみられていない (EU-RAR (2000)、PATTY (6th, 2012))。したがって、区分1 (呼吸器、肝臓) とした。旧分類では吸入経路での毒性影響が明確でないことから分類できないとなっていた。しかし、得られた吸入経路の情報から分類が可能であった。 ¹⁾ (ジエチレングリコールモノブチルエーテル)
吸引性呼吸器有害性	:	データなし
その他	:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	:	(製品のデータ) データなし (成分のデータ) ヤツメウナギ類 LC ₅₀ (96hr) 0.62mg/L ²⁾ (ポリオキシエチレンアルキルエーテル) ヒメダカ LC ₅₀ (48hr) 3.3mg/L ²⁾ (ポリオキシエチレンアルキルエーテル) ミシッドシュリンブ LC ₅₀ (96hr) 0.73mg/L ²⁾ (ポリオキシエチレンアルキルエーテル)
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし
他の有害影響	:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	:	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制		
国連番号	:	3267
品名(国連輸送名)	:	その他の腐食性液体、アルカリ性、有機物、他に品名が明示されていないもの
国連分類(輸送における危険有)	:	8
国内規制		
陸上輸送	:	消防法、毒劇物取締り法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	:	船舶法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	:	航空法に定められている輸送方法に従う。

特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法 : 非危険物
労働安全衛生法 : 通知対象物質に該当する（ジエチレングリコールモノブチルエーテル）
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
化学物質排出把握管理促進法 : 第一種指定化学物質（NO.407:ポリオキシエチレンアルキルエーテル）

16. その他の情報

引用文献 : 1)NITE 化学物質管理分野 GHS関連情報(ジエチレングリコールモノブチルエーテル、2015年)
2)原料メーカーのSDS(ポリオキシエチレンアルキルエーテル)

改訂情報 : 2019年 1月21日 策定
2019年 2月8日 改訂

記載内容の取扱い : この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の手取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。